## 11月の定例教育委員会のお知らせ

◆日時／11月12日㈭　14時から　◆場所／第２委員会室（自由に傍聴できます）
◆問い合わせ／教育振興課 総務係　☎0952−75−8022 ※日程は変わる場合があります

## 教育委員会だより
## 「多久から発信！SDGs㊿」
### 〝私たちの未来〟

私たち東部校7年生は多久市の事業の一環として、地球温暖化についての環境学習ワークショップを行いました。

まさか私たち一人ひとりが一日に出す二酸化炭素の量が、1,000Lのお風呂5回分だとは思っていなかったので驚きました。電気を使うにも、私たちが毎日出すごみを燃やすにも二酸化炭素が排出されていることを知りました。特によく使うプラスチックが最も二酸化炭素を出すそうです。だから、今後はごみをあまり出さないようにする工夫やできるだけ電気を使わない工夫、プラスチックの使用を減らす工夫（ペットボトルをあまり買わない、エコバッグを持っていくなど）を心がけようと思いました。また、油や服、ビニール袋など、様々なものをごみとして捨てるのではなく、リサイクルに回せば未来のためにつないでいける材料になるのだと知りました。

自分一人が未来のことを考えた行動を心がけても変わらないと思っていたけれど、その輪が広がっていくと、みんなが未来のことを意識し、より良い暮らしが送れる多久市、そして、世界になっていくのだと思いました。これから先は私も多久市民として、未来のことを考えた行動ができるようになりたいと思います。

東原庠舎東部校
7年1組　野田 結寿
　　広橋 葵




## 連載
## 多久市の指定文化財（20）
### ー青銅造孔子像ー［市重要文化財］

多久町一六四二番地（多久聖廟）

多久聖廟の孔子像は宝永5年（1708）の聖廟創建以来、廟内に安置されています。今日でも学問の祖・学業祈願の本尊として敬われ参詣者が多く訪れるとともに、市の重要文化財です。

多久の孔子像は、多久聖廟の創建者、四代領主多久茂文が依頼し、元禄13年（1700）に京都の儒学者中村惕斎の監督により製作されました。椅子に座した姿が表された椅坐像で像本体と椅子部で構成されます。青銅製で全体の高さ90・9㎝、重さ108・1kgを測ります。像容は気品に満ちており、学問の最高の位が与えられた文宣王の像として、王位を表す冕冠（かんむり）をつけ、衣装には日・月・星辰・龍などの図柄が繊細な毛彫りで施された華やかで洗練された像です。

茂文は自ら著した『文廟記』に製作翌年の元禄14年、多久に像を迎えた喜びを「千喜万祥歓欣の至りに堪えず」と記しています。

国内に青銅製孔子像の例は少なく希少なこと、作者・年代が明確で市民にとって最も価値の高い文化財といえるため、平成元年に指定されました。

（教育振興課）


▶青銅造孔子像

## 市民文芸

### 短歌《麦の芽短歌会 互選》

◆ヘソ曲がりの 西進台風 通過時刻
　真夜中の空は 月さやかなり
　尾形 節子

◆神様が 愛の二択を 用意する
　凄い奇跡か 凄い幸せ
　野崎 隆幸

◆川原に 降り立ち採りし 数珠玉よ
　音柔らかに 掌の中に鳴る
　川浪 信子

◆新しく 我が家となりし 三階は
　八幡岳見ゆ 毎日眺む
　梶原恵美子

◆クウェートは イラクの隣 小さき国
　多久にパビリオン 完成楽しみ
　浦野 嘉恵

### 俳句《大石ひろ女選》

◆大根蒔く 我に匂ひし 張り薬
　武富 律子

◆長袖を 一枚重ぬ 寒露かな
　本村 則子

◆色鳥や 旧家に使う 山の水
　富樫 明美

◆ざくろ熟る 記憶の中の 母の顔
　大谷 和子

◆火の国の 地震の復興 秋あわれ
　大石ひろ女

### 川柳《多久川柳会 互選》

◆旅帰り みやげ広げる 至福時
　大谷 和子

◆ランチタイム 箸の喜ぶ 友と秋
　小副川ヨシエ

◆山の案山子も 紺のかすりに 衣替え
　井上 東子

◆母親は 走れ走れと 声枯らす
　田代えみこ

◆バッグだけ 持って旅する きまま旅
　古賀ひろこ